



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



賛美

「おお御神をほめまつれ」

「私たちは一つ」

「神はひとり子を」 聖歌392番

「主と共に歩む」 聖歌588番

献金

牧会祈祷&主の祈り

使徒信条

聖書朗読 マルコ福音書16章19節

ローマ書8章34節

メッセージ 「使徒信条⑩ 天に昇られた」 関真士師

聖餐式

賛美 「人生の海の嵐」 聖歌472番

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって、
一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、初めての方もどうぞご参加ください。
- 本日の礼拝では、聖餐式が持たれます。主の十字架を想い、心を備えましょう。
- 本日礼拝後 HCCファミリーミーティングがあります。どなたも是非、ご参加ください。
- 聖書の真実 考古学者Dr.Steven Collinsによる講演会。8月8日(金)5PM 無料 食事付 会場:教育館 要登録 受付テーブルでサインアップ。
- 連合賛美フェスティバル 8月9日(土)9:30am 会場:マキキ聖城教会 参加メンバー募集中
- BBQパーティ 賛美フェスティバル後に持たれます。参加費: \$12 家族 \$20(何人でも) ぜひご参加ください。事前にチケットを頒布します。

献金



▼歌手の坂本九さん(故人)が歌って大ヒットした「幸せなら手をたたこう」。その歌詞は、約60年前、クリスチャンの日本人青年が、フィリピンで平和を願って書いたものだそうだ。その青年とは、現在早稲田大名誉教授の木村利人(りひと)さん(89)。木村さんは同大大学院生だった1959年、農村復興の国際ボランティアとして、フィリピン北部の村に滞在した。しかし、同国では日本軍占領下に多くの住民が戦争の犠牲になったとされ、反日感情が強く、冷たい視線を浴びながらの活動が続いたという。それでも、木村さんは現地の人たちのために黙々と汗を流して働いた。そんな姿を見ていた地元のボランティア仲間から、思いがけない言葉をかけられた。その仲間は、父親を日本軍に殺されていた。「最初は君を殺そうと思った」「忘れることはできないが赦すことはできる」「二度と悲惨な戦争をおこさないよう僕たちで誓い合おう」——。その言葉を聞き、2人でしっかりと手を取り合ったという。「幸せなら手をたたこう」のメロディーは、現地で耳にした民謡が原曲だ。木村さんは、帰国する際、仲間との誓いを、聖書の中の「さあ、皆さん、喜んで手をたたきましょう。大声を上げて主をほめたたえましょう」という詩篇の御言葉から、曲に合わせて作詞したがこの歌になった。

この歌は、賛美だったのですね。

関真士牧師
sekishinji89@gmail.com

風の吹くままに

2025年度聖句 ピリピ書2章13節

神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて
志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、
否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①権威と権力は違います。これまでの出会いの中で、権
威者と呼べる人に出会ったことがありますか。また権力
者に出会ったことがありますか。その違いは、あなたに
とって、どのような違いだったでしょうか。

②イエスさまが、あなたのために祈っていてくださるとした
ら、今はイエスさまは何と祈っていてくださると思います
か。

マルコの福音書16章19節

主イエスは彼らに語った後、天に上げられ、神の右の座
に着かれた。

ローマ書8章34節

だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださっ
た方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエス
が、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなし
ていてくださるのです。

* 引用聖句 ピリピ人への手紙 2章6節～11節 マタイの福音書 20章
25～28節 ローマ書8章34節 ルカの福音書 22章 31～32節

* 次週のメッセージ

「使徒信条11 再び来られるイエス」
ヨハネ福音書5章28、29節使徒10:42 Ⅱ テモテ4:1

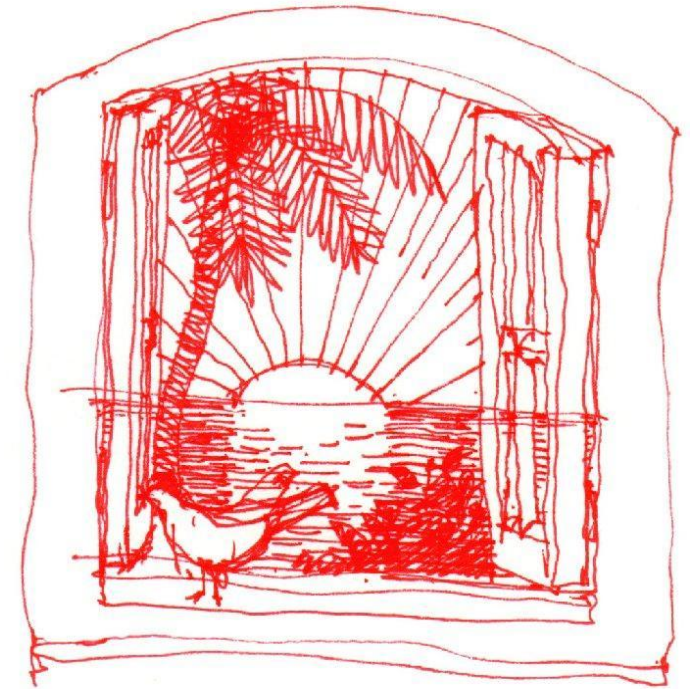
ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822
日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335
Email: office@honoluluchristian.church



ホノルルキリスト教会2025年7月6日

週 報



詩篇117篇1、2節

すべての国々よ 主をほめたたえよ。すべての国民よ
主をほめ歌え。主の恵みは私たちに大きい。主のまこと
はとこしえまで。ハレルヤ